



市立横手病院…施設自慢 (1ページ掲載)

# 看護あきた

Nursing Akita



Vol.147

令和3年度4号



## contents

シリーズ 施設自慢	1
認定看護管理者教育課程	2
訪問看護推進事業報告・在宅医療従事者育成支援事業	3
災害支援ナース派遣調整合同訓練について	4
地区支部活動報告	5
安全情報	6
3 職能委員会の活動報告	7
常任委員会の活動報告・Let's Cooking	8
役員等立候補者の公示・理事会だより	9
秋田県ナースセンターニュース	10
事務局からのお知らせ	11

# シリーズ 施設自慢

## 市立横手病院

総看護師長  
高橋 礼子

秋田県南部に位置する横手市は、自然がとても豊かな城下町です。お米やリンゴ、ブドウ、サクランボといった果樹栽培など、農業の盛んな地域でもあります。病院の前は横手川が流れ、後ろには横手城を見ることが出来、晴れた日には鳥海山を見ることができ自然環境には大変恵まれています。春はさくらまつり、夏は送り盆まつり、秋は紅葉や菊まつり、そして冬はかまくら、梵天まつりと一年を通して四季を楽しめる地域でもあります。

市立横手病院は感染症病床を含め229床をもつ急性期病院です。その歴史は古く、明治22年に設立され令和4年で133年目を迎えます。国内で現存する最も長い歴史のある病院の一つです。私たちは先人の努力を引き継ぎ、地域の人々からの信頼にこたえるよう努力を続けてまいりました。

我が看護科はスタッフ数約270名、一般急性期7：1看護、看護提供体制は固定チームナー

シングです。病棟の夜勤体制は正循環の三交代性で、交代勤務による健康への負担を最小限にしています。

コロナ禍でなかなか院外の研修に出れない中でも、Web研修やeラーニング、他職種の協力によるOJTを積極的に取り入れた教育プランを実施しています。また認定看護師による、院内外の研修も行っており、院外の施設の方々にも大変好評をいただいています。

コロナ禍で色々なイベントや行事ができない中、11月の糖尿病週間に横手城をイベントカラーのブルーにライトアップする試みをしました。糖尿病の方々や関係者のみならず多くの方々から好評をいただきました。



## ファーストレベル

### ◆実施内容

#### 1. 研修期間

5月25日(火)～8月4日(水)

全114時間

#### 2. 修了者数：82名

◆本教育課程は、定員を80名に増員して2年ぶりの開催となりました。秋田県内各地（県北部5施設、中央部12施設、県南部13施設）から定員を上回るご参加をいただきました。一部オンライン講義を併用しての研修開催となりましたが、無事に21日間の全日程を終了することができました。修了された82名の臨床でのご活躍を期待しております。



## サードレベル（三期生）

### ◆実施内容

#### 1. 研修期間

●前期：9月1日(水)～10月8日(金)

●後期：10月25日(月)～11月19日(金)

●インターバル：

10月9日(土)～10月24日(日)の  
期間に実習1日間 全186時間

#### 2. 修了者数：14名(秋田県内14名)



### ◆修了式謝辞より

新型コロナウイルスの感染が再び拡大している中、14人全員が揃ってサードレベルを修了できました事を大変嬉しく思います。

この度、私達は質の高い組織的看護サービスを提供するために必要な知識を習得し、効果的なマネジメントが展開できるように経営管理や看護管理の視点を磨くため研修に参加しました。

2025年問題や2040年問題を踏まえ、人口動態の推移や医療制度改革の動向など医療や看護を取り巻く環境の中、組織をマクロ・ミクロの視点で捉え、地域の特性や病院の持つ医療機能から自組織の在り方について考える事ができました。また、地域共生社会の実現を目指し、地域連携のあり方や在宅医療の推進、医療の機能分化やテクノロジーの活用など、地域や組織、看護管理の各課題に対し先見の明でビジョンを掲げ、マネジメントしていかなくてはならないと学びました。

何をするかで組織は変化し、戦略に従って組織が作られ、そこには組織風土が大きく影響する事になります。管理者の提示するビジョンが組織の価値判断となり、その後の意思決定にも繋がる事になります。社会情勢や政策が変われば、そこに関連する人の価値基準も変化し、病院に対する地域の期待も変化します。変革は成長に繋がり、そこで得られた成果は強い組織文化の構築に繋がる事になります。

組織に必要な良い仕組みと、そこに必要となる人材管理を両輪で考え、変化に対応できる組織デザインを管理者はマネジメントし、変革し続ける組織文化を作っていかなければならないと感じました。

今回の研修では、病院経営への参画意識が高まったと同時に、統合実習を通して看護管理者としての姿勢や信念についても考える良い機会となりました。また、今迄とは異なりレポート課題では、多角的な視点で膨大な知識や情報、概念化スキルが必要とされ、かなり悩み苦しんだ状況でした。そんな中、仲間との出会いは悩みを共有し、多様な考え方や価値観に触れる事にも繋がり、励まし合いながら今日という日を迎える事ができました。

今後は、自己の裁量権と責任を自覚して看護管理観を明確にしていくと共に、新たに得たネットワークを効果的に活用していきたいと思えます。そして、組織存続に向け経営参画と看護管理の実践を展開し、成果に繋げていけるよう邁進していきます。

この研修期間、私達は周囲の方々の理解と協力の下、多くの励ましや支援を頂きました。御指導頂きました講師の先生方や秋田県看護協会の皆様、また各施設における上司や現場スタッフの皆様、そして、研修を共にしてきた同志達に心より感謝申し上げます。

修了生代表 能代厚生医療センター 千葉 愛さん

## 1. 訪問看護師養成研修

◆研修期間：5月13日(木)～9月6日(月) ◆申込者数：10名 ◆受講者数：9名 ◆修了者数：9名

### ◆受講者の声

- 受講前は訪問看護という奥深いものとは分からず、何に頼ってどうやって覚えていけば良いのかと悩むことが多かったのですが、訪問看護とはから始まり、歴史、看護ケアの必要性、多職種との連携における関わり方、全てをこの受講に取り入れてくださり、分かりやすく教えていただきました。
- 在宅医療についてたくさんのことを学ぶことができました。訪問看護に従事していませんが、今回学んだことは日々の業務でとても役立つことが多く、本当に参加してよかったと思っています。



## 2. 訪問看護実践力向上研修

◆開催日時：県北部地区9月17日(金)、県中央地区8月10日(火)

◆研修テーマ：「リスクマネジメント」 ◆申込者数：13名 ◆受講者数：12名 ◆修了者数：12名

## 3. 訪問看護管理者研修

◆研修期間：8月～12月 \*集合研修：8月7日(土)、10月16日(土)、12月4日(土)

◆申込者数：4名 ◆受講者数：4名 ◆修了者数：4名 \*公開講座受講者：2名

◆まとめ：本研修は、「訪問看護及び介護施設等の看護管理者研修プログラム（日本看護協会令和元年作成）」を活用し、約3か月にわたって学習を進めました。研修を通して、自施設のある地域の現状と課題、事業所の果たす役割の再確認と、受講者各々が取り組む課題を共有することができました。

# 令和3年度 在宅医療従事者育成支援事業

## 1. 退院支援看護師養成研修

◆修了者：44名

### ◆受講者の声

- 今まで色々な研修のファシリテーターをやりましたが十分でなかったと感じました。今後の参考にしていきたいと思います。研修をありがとうございました。
- 他施設の取り組みや同じ課題を抱えていることを知り、自施設でも出来ることが見えた、見いだせた研修会だったと思います。ありがとうございました。

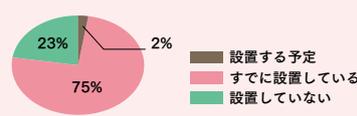
## 2. 秋田県内の退院支援・調整に関する実態調査(退院支援看護師養成研修事業)

◆調査期間：11月19日(金)～12月3日(金) ◆調査病院数：66施設 ◆回答数：40施設、回収率60.6%

### ◆アンケート調査結果(一部抜粋)

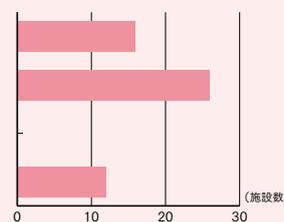
1) 医療・介護連携業務(入退院時の連携・調整、相談支援等)を担う部門について

	回答数
① 設置する予定	1
② すでに設置している	30
③ 設置していない	9



2) 退院支援・退院調整のための人材育成について(複数回答可)

	施設数
① 自施設の部署レベルで定期的に学習会を開催している。	16
② 外部の教育機関(大学、看護協会等)が開催する退院支援看護師養成研修に参加させている。	26
③ 外部講師を招いて、施設内で研修会を開催している。	0
④ その他	12



#### 【その他の内容】

各職能団体で行う関連研修への参加、不定期であるが院内研修の開催、e-ラーニング等での個人学習、WEB研修会等の実施、精神保健福祉協会の研修、院内教育研修計画に組み入れている、各部署の要望に応じた学習会を担当者が行っている、看護部地域連携委員会を設置し育成、訪問看護師と同行訪問、地域の関係者を招いて事例交流を行い、学び、振りかえりを共有している

### 3) 院内・院外関係者との連携・調整において、課題や悩みを感じていること(一部抜粋)

- 院内連携が一番難しい。病院と家族との間に入り、すり合わせし、安心・安全・納得の出来る退院支援を心がけています。
- 全ての患者さんに担当MDWがつき、連絡調整を行っているため、負担が大きい。
- 「老いる」や「看取り」などに関して職種間の認識の違いをどう対応したらいいか。
- さまざまな職種が介入した支援を目指したい。

## 3. 介護福祉施設等看護職員資質向上研修(県北地区・県南地区)

◆参加者：22名 ◆テーマ：「介護福祉施設での感染管理」

### ◆受講者の声

- 感染管理の基礎知識を再確認とコロナ対策については、具体的に細かい内容でわかりやすかったです。コロナ対策はどこまで実践できるかわかりませんが、万が一発生時に不安がないよう取り組んでいきたいです。ありがとうございました。
- 介護職でもわかりやすい言葉で説明していただき、感謝しております。また、実際の映像により、全体の配置や個々で不確かだった部分の確認ができ、大変良かったです。

## 4. 介護福祉施設等の看護管理者研修

◆修了者：3名

### ◆受講者の声

- ほかの施設での取り組みを聞くことができ、自施設でも活用していきたいと思いました。どうあるべきかを常に考えて日々の仕事に取り組んでいきたいです。

## 5. 介護福祉施設等研修講師派遣事業

◆実施期間：9月～12月上旬 ◆参加施設：15施設 ◆参加者数：341名 ◆認定看護師：のべ16名

◆研修分野：緩和ケア、摂食・嚥下障害看護、感染管理、認知症看護、皮膚・排泄ケア

### ◆参加施設からの声

- 事前から計画書の作成、流れが分かりやすく、スムーズに研修会を行うことができました。
- 看護職以外の多職種も多く参加することができ、今後の看取りケアの参考にしたとの感想が多くありました。各々が看取りケアに関心を持ち、受け身から積極的な関り持ちたいと思う機会になったようです。また、自身の身内の終末についても考えるきっかけとなったとの感想もありました。



### ◆認定看護師の講師からの声

- 施設での看取りには、関心があり、実際どのように行われているのを知りたいと思っていたので、今回このような機会があり良い経験になった。また病院での意思決定支援や退院調整の大切さを改めて学びなおす機会であったと感じる。
- 事前に打ち合わせが出来たため、施設で知りたいことが具体的に確認できた。実際の取り組みを目で見て確認し、メリット・デメリットを施設担当者と話し合うことができたのでよかった。

## 6. 地域包括ケア推進看護職ネットワーク事業

◆会議5回(7月～11月)

◆集会：11月11日(木)・参加者18名

## 日本看護協会と都道府県看護協会との災害支援ナース派遣調整合同訓練について

◆実施期間：令和3年11月9日(火)～11日(木)

本訓練は、日本看護協会と都道府県看護協会との連絡や災害支援ナースの派遣調整を円滑に行い、災害支援ナース派遣の体制を改善・強化する目的で、毎年1回実施しています。本年度は被災県として上記3日間の日程で紙上訓練を行いました。被災施設として参加いただいた5病院及び、災害支援ナースが所属している施設の皆様からのご協力ありがとうございました。

次年度も引き続き、災害支援ナース派遣へのご協力とご理解をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

また、災害支援ナースへの登録も併せてお願いいたします。



# 地区支部活動報告



北秋田地区支部

北秋田市民病院

北秋田地区支部 支部長 五代儀 明美

## 地区支部活動について

今年は、新型コロナウイルス感染症の影響でほとんどの行事が中止となる中、「ふれあい看護体験」と秋田臨海地区支部との合同で3地区支部合同研修会『身体拘束のない看護「観る」から「見る」ケアへ』と題してWeb開催することが出来、初の試みではありましたがコロナ禍の中、充実した研修会となりました。



交流会は昨年できなかったそば打ち体験を「陽気な母さんの店」の石垣一子氏他2名をお招きし、粉から練って生地をのばし、切って湯がいて食すまで一連の作業を通して美味しくいただきました。同日、保健師の近藤智里氏をお招きし、ワクチン接種事業で共に従事した近隣のクリニックの看護師と、報告会を聞くことが出来ました。第6波が猛威を振るっている中、3回目のワクチン接種も始まりました。地域住民の皆さんが安心した生活が送れるようにこれからも協会員として出来ることに取組んでいきたいと思ひます。



能代・山本地区支部

JCHO秋田病院

能代・山本地区支部 支部長 安田 純子

## 地区支部活動について

新型コロナウイルス感染症による社会の変化に、私たち看護職が今できることは何かを考え、柔軟な対応をしていくことが求められています。

そんなコロナ禍で今年度、能代山本地区支部で行った活動は、食べることを支えるために「摂食嚥下について～基本知識～」をテーマに、男鹿みなと市民病院の摂食・嚥下障害看護認定看護師である石黒由希子氏による講演を開催できました。合同研修発表会では7題の発表がありました。どちらも人数制限をしての開催となりましたが、地域が高齢化する中で、看護職として対応するために必要な基礎知識の習得と、看護を発展させるために探求した知識の伝達がありました。



また、ふれあい基金の贈呈では「二ツ井めぐみ園」へ伺いました。利用者様の温かなまなざしと、職員の方々の優しいまなざしと、施設長の熱い想いに触れる貴重な機会となりました。

今後も引き続き、地域の皆様に役立つ活動を行っていきたく思います。



横手地区支部

市立横手病院

横手地区支部 支部長 高橋 礼子

地区支部活動について

今年度もコロナ禍でのスタートとなりました。色々なイベントへの参加や地区支部活動を予定していましたが、そのほとんどの活動は中止せざるを得ない状況でした。新型コロナウイルスの第4波、第5波の影響は県南地区にも影響を及ぼしました。そのような状況の中、ワクチン接種は順調に進められ、感染症も落ち着きを見せてきた12月に県立横手城南高校より依頼のあった出前授業があり、市立横手病院から看護師1名派遣しました。職場見学などできない状況下で多くの高校生から好評をいただき、看護の仕事を手近に感じ、興味を持ってもらえました。次年度は例年どおりの活動ができることを期待しております。



安全情報 Safety Information

No.32 医療・看護安全委員会

新型コロナワクチン間違い接種情報

抜粋：厚生労働省健康局健康課予防接種室

インフルエンザワクチンなどの他のワクチンを接種しに来た方に新型コロナワクチンを接種する誤りが起きています。不要な侵襲を与えるだけでなく、本来打つべきワクチンの接種時期が遅れてしまいます。 ※2021年9月30日までに、接種ワクチンの種類の間違いが74件報告されています。

- 接種前の6R
①正しい接種者か
②正しいワクチンか
③正しい目的か
④正しい接種量か
⑤正しい接種方法か
⑥正しい時期か

予防接種時の対策

- ①1トレイに1種類、何のワクチンが載っているかわかるように準備する。
②診察室内において、接種者の手が届く範囲に異なる種類のワクチンを置かない。
③接種直前は一呼吸おき、接種者と被接種者とで、接種するワクチン名を声に出して確認する。
④可能な限り、新型コロナワクチンと他のワクチンを接種する曜日や時間帯を分ける。

※曜日や時間帯を分けることが困難な場合は、特に①～③に留意する上記は一例です。



## 3 職能委員会の活動報告



### 保健師職能委員会

委員長 鹿子沢 真由美

今年度は、「保健師の資質の向上と組織強化を図る、保健師の専門性を活かした保健活動の推進」を目標に、複雑かつ多重課題を抱える事例検討会を秋田大学の米山奈奈子教授を講師に迎え開催しました。実際の事例を通し検討会の方法等について学びました。また、連携をテーマに集会を予定していましたが、コロナ禍で中止とさせていただきます。ほかに職能通信、リーフレット「保健師の皆さんへ」を発行し、皆様へ情報提供を行ってきました。



まだコロナ禍は続きそうですが、その中で皆様への情報提供、交流の在り方を模索しながら、今後も日ごろの課題解決に役立てていただけるような職能委員会活動を行っていきたくと考えています。

### 助産師職能委員会

委員長 齊藤 清子

新型コロナウイルス感染症の影響で、昨年に引き続き「国際助産師の日」、「子育て応援団すこやかあきた」等主要事業が中止となりました。

11月4日「助産師のキャリアビジョンについて」～目指す助産師像に向かって～というテーマで並木クリニックの佐藤秋子氏、子ども子育て応援ハウス Growing up の尾留川公子氏を講師に助産師集会を開催しました。参加者は17名で、講師の貴重な経験を聞き、改めて自分の助産師像について考えることができました。



アドバンス助産師は、県内新規登録者及び更新者は少なかったようです。今後も引き続き情報発信を行っていきたくと思います。

### 看護師職能委員会Ⅰ

委員長 鈴木 節子

今年度開催を予定していた看護師職能Ⅰ集会和看護師職能Ⅰ・Ⅱシンポジウムは、準備を進め開催直前まで様子を見ていましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い中止となりました。参加予定していた皆様には、ご迷惑をおかけいたしました。昨年度に続き中止となってしまいましたが、次年度に向けて継続していきます。



「看護チームにおける看護師・准看護師及び看護補助者の業務の在り方に関するガイドライン及び活用ガイド」は、「看護あきた」3号に掲載し周知を図ったところです。次年度も継続し、現状把握のためのアンケート調査なども予定していますのでご協力お願い致します。また、コロナ禍における現状・課題については、数カ所の施設の看護管理者の方に電話対応で情報をいただき、委員と現状・課題について検討することができました。ご協力いただきありがとうございます。

### 看護師職能委員会Ⅱ

委員長 豊嶋 直美

今年度は、昨年実施したアンケート調査結果から、地域包括ケア時代における看取りとACP「人生の最終段階における医療やケアに関する意思決定支援」に焦点をあてた活動を行いました。



11月11日(木)「地域の看護力に見える化と最適化をめざして～住み慣れた地域でその人らしい人生の終い方を創造する看護の力～」というテーマで、「看護師職能Ⅱ集会」を開催しました。18名の参加があり、「地域でのACP推進その現状と課題」についてグループ討議を行い、多職種連携の重要性や地域でのACP推進における看護職の役割を再認識することができました。次年度も、同様のテーマでシンポジウムと集会を開催します。多くの方の参加をお待ちしています。

## 看護労働環境改善委員会

## 看護職員の労働安全衛生の研修会

- ◆日時：11月5日(金) 13:00~16:00
- ◆場所：秋田県総合保健センター2階 大会議室
- ◆参加者：36名(委員含む)

### 《参加者の声》

- 講義内容よりアンケート内容の対応というあたりが日常的に悩んでいる事だったので、そのあたりを具体的に深く聞きスキルアップしていけたら良かったと思った。
- ハラスメントの内容について理解でき、リスクの高いものと感じた。組織で対応していくことや、研修を継続的に行うことの重要性を知った。



## Let's Cooking

● 秋田厚生医療センター「トラ」より

## 「マシュマロクッキーとマカロン風マシュマロ」



### 材料

- ・マシュマロ(中、大)
- ・ナッツ類(アーモンド、クルミ、カシューナッツ等 無塩用)
- ・ピーナツバター
- ・レーズンクリーム(ジャムや好きなクリーム類)



### 《おすすめポイント》

マシュマロの中には卵白を使用していない物もあります。卵アレルギーの子供にはちょっとした、手間をかけない簡単な手作りおやつになります。又、マシュマロが膨らむ状態を見て驚いたり、子供がナッツをのせたりクリームを挟んだりと楽しさも味わえます。洗い物も少なく手間をかけないおやつとして、子供と一緒に楽しめると思います。

### 〈マシュマロクッキー〉作り方

- 1 鉄板にオーブンシートを敷き、間隔を開けてマシュマロを並べる。
- 2 120℃で15分焼き一度取り出し、上から押し付けるようにナッツを乗せる。
- 3 再びオーブンに入れて120℃で45分焼き取り出しそのまま冷ます。

### 〈マカロン風マシュマロ〉作り方

- 1 オーブンを140℃に予熱する。
- 2 鉄板にオーブンシートを敷き、間隔を開けてマシュマロを並べ140℃で35分焼く。
- 3 焼きあがったら取り出しシートごと網に乗せ完全に冷めたらシートからはがし、お好みのクリームやジャムを塗り挟んで出来上がり。

<注意>どちらも焼き上がりは柔らかいのでやけどに注意。  
又、しっかり冷めないとシートからはがれにくいので気を付ける。

## 令和4年度 役員等立候補者の公示について

令和4年度役員等の選挙について、次の候補者が立候補されましたので公示します。

令和4年3月3日  
秋田県看護協会選挙管理委員会  
委員長 齋藤 京子

### 1. 理事・監事候補者

(任期-理事2年、監事4年 所属-令和4年3月3日現在)

役職名	氏名	職種	所属施設名	協会活動歴	摘要
理事	白川 秀子	看護師	秋田県看護協会	現理事(会長)	推薦委員会推薦
理事	戸 蒔 高子	助産師	在宅	現理事(副会長)	推薦委員会推薦
理事	吹谷 由美子	看護師	秋田県看護協会	現理事(常務理事)	推薦委員会推薦
理事	佐々木 澄子	看護師	由利本荘医師会立由利本荘看護学校	現理事(会計)	推薦委員会推薦
理事	成田 睦子	看護師	市立秋田総合病院	元理事(地区支部)	推薦委員会推薦
理事	阿蘇 真澄	准看護師	本荘第一病院	現理事(准看護師担当)	推薦委員会推薦
理事	石川 みゆき	看護師	本荘第一病院	元社会経済福祉委員会委員	推薦委員会推薦
理事	高橋 聡子	看護師	県立リハビリテーション・精神医療センター	現地区支部役員(副支部長)	推薦委員会推薦
理事	佐藤 やよい	看護師	平鹿総合病院	元地区支部役員(副支部長)	推薦委員会推薦
理事	佐藤 孝子	看護師	町立羽後病院	元推薦委員会委員長	推薦委員会推薦
理事	佐藤 由夏	看護師	秋田赤十字病院	現認定看護管理者教育運営委員会委員	推薦委員会推薦
監事	今野 笑子	看護師	秋田大学医学部附属病院	元創立70周年記念事業委員会委員	推薦委員会推薦

### 2. 推薦委員会委員候補者

(任期-2年、所属-令和4年3月3日現在)

氏名	職種	地区	所属施設名	協会活動歴	適用
阿部 真理子	看護師	県北	かづの厚生病院	元理事(地区支部)	推薦委員会推薦
三浦 美奈子	看護師	県北	能代山本医師会病院	元地区支部役員(幹事)	推薦委員会推薦
阿部 真須美	看護師	県南	市立角館総合病院	現推薦委員会委員長	推薦委員会推薦
進藤 享子	看護師	県南	市立大森病院	元地区支部役員(副支部長)	推薦委員会推薦

## 令和5年度 代議員等立候補者の公示について

令和5年度日本看護協会代議員及び予備代議員について、次の候補者が立候補されましたので公示します。

令和4年3月3日  
秋田県看護協会選挙管理委員会  
委員長 齋藤 京子

### 1. 代議員候補者(推薦委員会推薦)

(代議員数7名、任期-令和4年度1年間、所属-令和4年3月3日現在)

NO.	推薦区分	氏名	職能別	所属	協会活動歴
1	保健師職能	鹿子沢 真由美	保健師	秋田市役所	現理事(保健師職能)
2	助産師職能	齊藤 清子	助産師	秋田県立衛生看護学院	現理事(助産師職能)
3	看護師職能	成田 睦子	看護師	市立秋田総合病院	元理事(地区支部)
4	看護師職能	豊嶋 直美	看護師	リンデンバウムいずみ	現理事(看護師職能Ⅱ)
5	看護師職能(准看)	阿蘇 真澄	准看護師	本荘第一病院	現理事(准看護師担当)
6	大仙・仙北地区支部	高橋 聡子	看護師	県立リハビリテーション・精神医療センター	現地区支部役員(副支部長)
7	秋田臨海地区支部	菊池 優子	看護師	秋田厚生医療センター	-

### 2. 予備代議員候補者(推薦委員会推薦)

(予備代議員数7名、任期-令和4年度1年間、所属-令和4年3月3日現在)

NO.	推薦区分	氏名	職能別	所属	協会活動歴
1	保健師職能	加賀谷 純子	保健師	秋田県立衛生看護学院	現保健師職能委員会委員
2	助産師職能	船木 尚子	助産師	秋田県立衛生看護学院	元看護学会委員
3	看護師職能	大森 美香	看護師	秋田大学医学部附属病院	現看護師職能委員会Ⅰ委員
4	看護師職能	石野 真理	看護師	介護老人保健施設遊心苑	現看護師職能委員会Ⅱ委員
5	看護師職能(准看1)	田森 慶子	准看護師	市立秋田総合病院	-
6	大仙・仙北地区支部	高橋 早奈恵	看護師	大曲中通病院	-
7	秋田臨海地区支部	三浦 昌孝	看護師	藤原記念病院	-

## 理事会だより

◎第5回

令和4年1月26日(水)

#### 【報告事項】

- 1) 会長(代表理事)の職務執行状況報告
- 2) 三職能・地区支部事業報告
- 3) 常務理事(業務執行理事)の職務執行状況報告
- 4) 会計報告
- 5) 令和4年度日本看護協会会長表彰候補者について
- 6) 令和4年度秋田県看護協会改選役員・推薦委員候補者の推薦、令和5年度日本看護協会代議員及び予備代議員候補者の推薦について
- 7) 新型コロナウイルス感染症対策
- 8) 令和4年度地区支部役員の推薦及び法人カードの管理について
- 9) 令和4年度秋田県看護協会及び日本看護協会行事日程について
- 10) その他

1. 看護職員等処遇改善事業の周知協力依頼について

※概要を知りたい方は、当協会ホームページ(<http://www.akita-kango.or.jp/>)をご覧ください。ホームページにアクセスできない方は、当協会にご連絡ください。

#### 【議事】

- 1) 令和4年度秋田県看護協会重点事項(案) ..... [承認]
- 2) 令和4年度秋田県看護協会事業計画(案) ..... [承認]
- 3) 令和4年度教育計画(案) ..... [承認]
- 4) 令和4年度通常総会議案及びプログラム(案) ..... [承認]
- 5) 令和4年会長表彰受賞者(案) ..... [承認]
- 6) 令和3年度会長表彰受賞者(優秀学生賞)(案) ..... [承認]
- 7) 災害看護支援要綱の一部改正について ..... [承認]
- 8) 嘱託職員の雇用について ..... [承認]
- 9) あきた芸術村わらび劇場(2022年)への協賛について ..... [承認]

#### 【協議事項】

- 1) 日本看護協会への要望について
- 2) 令和4年度予算積算状況について
- 3) 理事の増員と専務理事職の新設について(討議案)



# 秋田県ナースセンターニュース



秋田県ナースセンターは、秋田県から委託を受けて、看護職の人材確保を目指して、就労促進、復職支援等の事業を行っています。

## 1 セカンドキャリア研修会を開催しました。



日本看護協会  
参与 弁護士  
友納理緒 氏

開催日：令和3年12月18日(土) 場所：秋田県看護協会 第一研修室  
テーマ：「看護職が働き続けるための政策」  
講師：公益社団法人日本看護協会 参与・弁護士 友納理緒 氏  
参加数：21名

### ◆参加者の声

- 身近に存在する課題と照らし合わせ、先生のお話を聴かせていただいた。
- 働き続けるために何に取り組むべきか職場で話し合い、具現化していきたいと思った。
- 看護職不足や高齢化等、社会の課題が理解できた。



## 2 訪問支援事業として施設訪問を実施しました。(令和3年10月～12月)

看護のお仕事移動相談で大館、能代、横手、大曲、本荘の各ハローワーク担当の相談対応者5名の方が各地域の病院、福祉施設を訪問し、看護職員確保に関する現状や働き方の工夫などを教えていただきながら、看護協会の研修会の周知やナースセンター事業の周知を行ってまいりました。

この事業は、2017年から開始し、これまで県南、県北の病院、福祉施設など71か所を訪問させていただいております。

今年度は16か所の病院、福祉施設等を訪問させていただきました。

大館地区	東台病院、鹿角中央病院、大湯リハビリ病院
能代地区	特別養護老人ホームあおば、障害福祉施設みらい、介護医療 京病院
横手地区	ショートステイえがお、特別養護老人ホームビハール横手、市立横手病院、社会福祉法人 アヴェック・トア
大曲地区	元気ネット株式会社、厚生連仙北訪問看護ステーション
本荘地区	象湯病院、介護老人保健施 あまさぎ園、佐藤病院、菅原病院

ご対応いただきました16施設の皆様に感謝いたします。

## 3 届出登録をご存じですか

離職時には「とどけるん」に届出登録をお願いします。

「看護師等の人材確保の促進に関する法律」の改正(2015年10月から)により、保健師・助産師・看護師・准看護師の免許をもち、病院等の職場を離職した場合などに、都道府県ナースセンターへ氏名や連絡先などを届け出ることが努力義務となっています。

届出登録後、ナースセンターと繋がっていることで、復職を検討する際に研修等をおこなったり、相談対応がスムーズに行われます。



とどけるん

詳細は届出専用サイト「とどけるん」又は秋田県ナースセンター窓口へ！





事務局からのお知らせ

開催日時  
令和4年

6.22 [水]

秋田県看護協会通常総会

[時間]13:15~15:45 [会場]秋田県総合保健センター2階 大会議室  
[対象者]秋田県看護協会会員

令和4年度 認定看護管理者教育課程

ファーストレベル

開催期間 令和4年5月25日(水)~8月1日(月)  
申込期日 令和4年4月11日(月) 17時必着  
定員 60名

セカンドレベル

開催期間 令和4年9月5日(月)~11月22日(火)  
申込期日 令和4年5月23日(月) 17時必着  
定員 30名

詳細は、教育計画冊子P24~P30認定看護管理者教育課程 募集要項をご確認ください。皆様の多数のお申込みをお待ちしております。

開催日時  
令和4年

5.13 [金]  
5.14 [土]

参加費無料

令和4年度 看護の日・看護週間

看護の  
出前授業

[日時]5月13日(金) 10:00~11:00  
[会場]エリアなかいち にぎわい広場 (雨天:なかいち広場)  
[対象者]未就学児

看護の日  
フェア

[日時]5月14日(土) 10:00~12:15  
[会場]秋田拠点センター アルヴェ きらめき広場  
[対象者]秋田県民どなたでもご参加可能

第49回 秋田県看護学会演題募集

[対象者]秋田県看護協会会員  
令和4年度入会手続きを済ませた者  
[演題受付期間]令和4年4月1日(金)~5月27日(金)  
\* 演題募集、論文投稿に必要な書類は秋田県看護協会公式ホームページからダウンロードしてください。

地域における看護研究支援

[対象者]秋田県看護協会会員  
[支援期間]令和4年5月~令和5年3月  
[申込切]4月21日(木) 17時必着  
[参加費]1件 30,000円(税込)  
\* 詳細は秋田県看護協会公式ホームページをご覧ください。

編集  
後記

徐々に日が長くなり、少しずつですが暖かくなってきました。会員の皆様はいかがお過ごしでしょうか?季節の変わり目は、特に体調の変化に気をつけていきたいものですね。広報委員一同も体調に気をつけて魅力ある看護あきたを発行できるようにこれからも努めて参りますので、よろしくお願ひします。(記:広報委員 一ノ関郁也)

水と、空気と、睡眠と。

## 東洋羽毛 睡眠セミナー無料サービスのご案内

睡眠セミナー講師を無料で派遣いたします。

東洋羽毛では「睡眠健康指導士」の資格を有した社員が講師を務める充実したセミナーをご用意しています。正しい情報を得て睡眠習慣を見直し、イキイキと健康的な毎日を歩むお手伝いをさせていただきます。

《お役に立てる主な研修》

- ★ 医療安全対策研修
- ★ メンタルヘルス研修
- ★ 学校保健委員会
- ★ 高齢者の睡眠ケア

\*オンラインセミナーの開催も承ります。

お気軽にお問い合わせください  
フリーコール 0120-639601

東洋羽毛北部販売株式会社 秋田営業所  
〒010-0951 秋田県秋田市山王6丁目9-25山王SEビル5F

今回掲載された文章や写真、個人名・団体名については個人情報保護法の下、他の目的には一切使用いたしません。